

Ⅱ．一般社団法人 日本工作機械工業会の活動

1. 概 要

(1) 定時総会

2024年5月28日（火）、東京都千代田区・ホテルニューオータニに於いて、で第14回定時総会を開催し、会員111社中108社（書面または代理人による議決の決議の行使を含む）が出席した。同総会では、稲葉会長が議長となり、2023年度収支決算、2024年度会費負担、補欠役員の選任について審議を行い、原案通り決議された。また、2023年度事業報告、2024年度事業計画、同年度収支予算についても報告があった。

総会終了後、同所において、堤 正臣氏（東京農工大学名誉教授）及び笹原 弘之氏（東京農工大学大学院工学府機械システム工学専攻教授）を招いて「CCMT2024 中国数値制御工作機械展覧会報告」と題する講演会を開催した。

(2) 理事会

当会の事業執行機関である理事会は、理事会運営の原則に基づき、5月に決算理事会、7月、9月、11月に定例理事会、3月に予算理事会を開催し、事業報告及び収支予算案、決算報告を始め、令和7年度税制改正要望等について審議した。

(3) 委員会・研究会

各事業の遂行については、総合企画、技術、経営、市場調査、国際、環境安全、見本市、輸出管理の8常設委員会及び選考委員会、人材確保・周知研究会、加工システム研究開発機構が、それぞれ所管する事業を以下の通り実施した。

① 総合企画委員会

新規入会について審議し、その結果を理事会へ上程する旨決めたほか、2024年度会員代表者懇談会（新潟県・長岡市、小千谷市、新潟市）を開催した。

② 技術委員会

研究開発部会、標準化部会が中心となり、「自動化生産システムに関する開発研究」、「工作機械業界の知的財産動向に関する調査研究」、「工作機械の試験・検査、安全、環境評価、ソフトウェアに関する国際標準化」への対応等、工作機械の技術振興に関する調査研究を幅広く実施した。研究開発部会、標準化部会が中心となり、工作機械の技術振興に資するための各種調査研究活動を実施した。

③ 経営委員会

経営調査部会、税制部会、労務研究部会が中心となり、老朽機更新を促進する税制の環境整備及び中小企業経営強化税制等の延長・拡充を柱とする「2025(令和 7)年度税制改正要望書(案)」を作成した他、「2023 年度工作機械工業経営状況調査」、「2024 年度工作機械工業収益状況集計」、「2024 年度春季賃上げ・夏季／冬季一時金妥結状況調査」、「2023 年度工作機械部門の新規・中途採用従業員数に関する調査」等を実施し、結果を共有した。また、「改正『高齢者雇用安定法』施行に伴う取組」等について情報収集を行った。

④ 市場調査委員会

市場部会、調達部会、サービス部会が中心となり、工作機械の需要動向に関する調査分析の他、政府予算措置等に関する要望のとりまとめ、「適正な下請け取引の推進と取引先の生産性・付加価値向上を支援する自主行動計画」に関する年次フォローアップ調査、工作機械サービスエンジニア共通教育の開催、工作機械サービス技能検定制度創設による第 1 回 3 級認定試験等実施した。

⑤ 国際委員会

「インドを軸にアジアにおける工作機械の需要産業」及び「世界の E V 動向」をテーマに、調査研究を実施した。特にインドについては、ベンガルール市で開催の IMTEX 2025 に合わせて、現地に視察団を派遣し、現地調査を実施した。

⑥ 環境安全委員会

カーボンニュートラル達成に向け、「工作機械産業の環境自主行動計画」のフォローアップ、環境活動状況問診票の内容見直し、環境活動成果報告会等を通じて、会員の環境活動の支援を行った。また、労働安全活動については、「ISO45001」に関する説明会を開催する等、情報収集に努めた。

⑦ 見本市委員会

JIMTOF 2024 の盛会と円滑なる運営を期して、諸準備に当たったほか、小間割の公表、出展実務者を対象とする説明会及び会場下見会の開催、搬入出日程の調整、会員による出展製品一覧の作成等を精力的に実施した。また、別途組織した企画部会では、会期中にアカデミックエリア内で実施する企画展示の魅せ方・演出について検討した。会期終了後、次回 JIMTOF 2026 に向けた意見・改善事項を取りまとめた。

⑧ 輸出管理委員会

経済産業省と連携し、工作機械の適正な輸出管理を推進したほか、業界各社の輸出管理に対する支援業務を行った。また、工作機械輸出管理初学者対象の「工作機械の輸出管理講習会」、及び工作機械輸出管理実務者対象の「工作機械の輸出管理研修会」をオンライン併用で開催した。また、海外事業者対象の「海外向け工作機械の輸出管理講習会」をインド・ベンガルールにおいてオンライン併用で開催した。

⑨ 選考委員会

臨時委員会での決議に基づき、2025 年 3 月 10 日付で設置され、次期役員候補及び会長候補の推薦について検討した。その結果、次期会長候補として坂元繁友氏（芝浦機械㈱・取締役社長）が推薦され、次期役員候補の審議結果とともに、第 75 回理事会において報告・了承された。

⑩ 人材確保・周知研究会

工作機械トップセミナーや工作機械基礎講座の企画・立案を行い、所要の事業を積極的に実施し、学生に対する業界 PR や若手エンジニアの育成に努めた。今年度の工作機械トップセミナーは、JIMTOF2024 に併せ開催し、全国の大学、高専から 80 校、532 名の参加者を得た。

⑪ 加工システム研究開発機構

産学連携による「先端的研究開発の強化」、「国際標準化への戦略的対応」、「若手エンジニアの育成」等の実現を目的に、産学連携により所要の活動を行った。

(4) その他

① 委託事業

- (イ) JIS 原案作成事業（（一財）日本規格協会）
- (ロ) 工作機械の精度試験規格に関する標準化活動（㈱三菱総合研究所）

② 補助事業

- (イ) 国際工作機械技術者会議の開催（（公財）JKA）
- (ロ) 工作機械の輸出管理講習会の開催（（公財）JKA）

③ 国際交流

- (イ) SIMTOS 2024 （2024 年 4 月・韓国 ソウル市）
- (ロ) CCMT 2024 （2024 年 4 月・中国 上海市）
- (ハ) IMTS 2024 （2024 年 9 月・米国 シカゴ市）
- (ニ) IMTEX 2025 （2023 年 1 月・インド ベンガルール市）
- (ホ) TIMTOS 2025 （2024 年 3 月・台湾 台北市）

④ 広報活動

月例記者会見を実施したほか、下記出版物の発行、メールマガジンの配信等、広報活動に努めた。

- (イ) 機関誌「工作機械」
- (ロ) マシンツールワールド
- (ハ) 日本の工作機械産業（和・英）
- (ニ) 工作機械統計要覧
- (ホ) 第 7 回工作機械検定の実施
- (ヘ) その他出版物

⑤ 会員相互の親睦強化

主として下記行事を開催した。

(イ) 第63回野球大会（2024年10月10日（木）、11日（金）

(ロ) 2025年新年賀詞交歓会（2025年1月9日（木））

(ハ) 第16回会員連絡者交流会（2025年3月14日（金））

(ニ) 日工会ゴルフ会

2024年 5月 9日(木)・愛知県/中京ゴルフ倶楽部 石野コース

5月29日(水)・静岡県/ファイブハンドレットクラブ

7月26日(金)・滋賀県/琵琶湖カントリー倶楽部

9月28日(土)・愛知県/中京ゴルフ倶楽部 石野コース

11月29日(金)・静岡県/ファイブハンドレットクラブ

2025年 3月27日(木)・滋賀県/琵琶湖カントリー倶楽部

⑥ 税制・補助金に関する証明書発行業務

中小企業経営強化法の経営力向上設備及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書発行業務を行った。